

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の核持ち込みに関する 「密約」に係る調査の関連文書No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込み問題, 東郷次官, ホドソン米国大使 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43866

112

極秘
無期限
部の内
号

山崎官房長
条約局長
(52.8.9記帳)

子会係障碑録

核対の件内題について

53.8.10
P×4P 高

8月10日在京米大使館にて

公使と会食(同公使の招待による)

公使館にて余人をまじえず(下天カ)

のもの。 院係協力と委員会作業

子会係就事会の開催時期、フライン

長官談話の趣旨の内題について意見交換

と行(米側)の際、お話しした内容

に及ぶ。 本館よりこの内題に備わ

若干のやりとりがあること、この核対

GA-6

外務省

有田外相、宮島外相に報告(前カ)云々(二一九)云々(二八九)竹崎主事

次の通り。

1. 本館より次の報告としたい。

「例の esoteric 内題につき山崎官

P×4P 高と P×2P 高 駐日公使と

(その職を去る迄)

貴公使とも意見交換を行なう核対

ありと、かねて貴公使に述べた

ことあり、目的(中集)は米側の立場

の証明の文言につき若干の点

を感している。それは何かといふと

米側証明の中 "..... we understood

the Japanese Government positions

GA-6

外務省

as expressed to us privately by
 the Foreign Office to be as follows: "

と1 新項掲げられたい。" The
 Japanese Government has never
 challenged the United States interpretations
 and does not intend to do so.
 It also does not intend to ask
 the United States to change our
 present arrangements " の表現は
 ありて、① 現段では 日本側
 の どの intentions とも一致しないこと

は 尚ほいなく、また、将来の由に
 しては どの intentions とも一致
 しない likely な" とは 考へていないこと。
 他方 将来 ~~の~~ こと 誰しも
 commit することは できない。故に
 ありて、当然のことと考へる。上記文句は
 将来の commitment を含んたものと解する
 べきではないと考へてゐる。② "our (U.S.)
 present arrangements" とあるは、
 米側の arrangements の 何であるかは
 日本側は 識らない。また、識りたる。立場

